



信大と松本秀峰 包括的連携  
全8学部との協定に拡大

信州大（本部・松本市）は、6日、松本秀峰中等教育学校（松本市）と包括的な連携協定を結んだ。これまで人文理の2学部が協定を結んでいたが、全8学部に拡大。包括的に連携することで、信大の教員が同校で授業をしたり、同校生徒が信大の研究室で実験したりできるようになる。

信大は2010年に人文学部、13年に理学部がそれぞれ独立した。同年に理学部がそれぞれ同校と連携協定を締結。同校生徒が信大で講義を受けたり、同校が信大の教育実習生を受け入れたりしてきた。今年1月、同校側が包括的連携を打診し、信大側が応じた。

包括的連携の第1弾として、20日から信大病院の医療関係者による講義を同校で始めると。年5回ほどを予定。

6日、信大本部で開いた調印式で、信大の濱田博学長は「生徒たちの考え方などに触ることは、大学教員にとって刺激になる」と期待。同校の小坂共栄校長は「生徒たちには、先端の設備や研究に触ることで、進路選択に役立てほしい」と話した。